

旅行会社の「真価」を発揮する年 活性化へアウトバウンド促進協議会設立

田川博己 JATA 会長は1月6日の年頭会見で、旅行会社の企画力や提案力、幹事力や添乗力といった「人間力」を発揮してマーケットの信頼を勝ち取り、2017年を「旅行会社の真価を発揮する年」にしたいと抱負を語りました。昨年に続いて「海外旅行の復活」を目指し、アウトバウンド促進協議会を設立することも明らかにして、旅行会社をはじめ、航空会社やホテル、鉄道、メディアなど幅広い関係者の参画を通じて、海外旅行市場の活性化を図る方針も示しています。

域が牽引役となつて、12億人に達しようとしています。

昨年から WTTC の副会長としてアジア太平洋地域の担当となりましたが、WTTC による最新の発表でも、昨年の旅行観光産業の成長率は3.1%を記録して、世界経済の成長率である2.3%を上回りました。旅行・観光産業が世界の GDP に占める比率は9.8%、雇用でも9.5%となっており、11人に1人という割合は、他の産業セクターよりも高い数字となっています。

双方向交流5000万人を実現

昨年はテロ事件や自然災害、難民問題など、様々な難しい出来事が起きたにも関わらず、世界の旅行人口は、アジア・太平洋地域が牽引役となつて、12億人に達しようとしています。

日本政府は昨年、「明日の日本を支える観光ビジョン」を発表し、こうした世界の潮流を取り組むことで日本経済の成長を実現するため、訪日外国人旅行者数について、2020年に4000万人、2030年に6000万人という目標を設定し、踏み込んだ政策を発表しました。

JATA としても、官民連携の一翼を担う決意であり、まず、2018年までにインバウンド3000万人、アウトバウンド2000万人、合わせて5000万人という双方向交流の実現を目指し、グローバルな視点で様々な課題に取り組みしていきたいと考えています。

会員会社の取り扱い拡大へ

2017年は、マーケットを動かすために「仕掛ける年」にして、「海外旅行の復活」

と同時に、JATA 会員会社による取り扱いの拡大を目指します。



アウトバウンド促進協議会を率いる菊間副会長

海外旅

行における目玉の施策として「アウトバウンド促進協議会」を設立し、JATA 海外旅行推進委員会の委員長を務める菊間潤吾 JATA 副会長に率いてもらいます。世界を5つの地区に分けてフォーラムやセミナーなどを実施し、首都圏以外でも活動を行うことでアウトバウンド市場の活性化を図っていきます。特に、JATA と覚書を締結しているマレーシアやタイ、フランス、オーストラリア、米国などの重点国を中心に、年間を通じて送客を進める方針です。

日本との国交正常化45周年を迎えた中国については、旅行会社による取り扱いも2013年並みに戻ってきています。JATA では「中国再発見」をテーマに、中国各地へ日本人旅行者を送客するためのプロジェクトも進めており、「昨年のような大型訪問団が計画された場合は、積極的に取り組む考えです。」

韓国では、昨年12月に1500人規模のファミツアーが3コースに分かれて視察を行っており、旅行会社の取り扱いも2014年の水準まで回復していることから、体験型の企画など質の向上と地方の魅力の掘り起こしを図っていきます。

安心安全で魅力ある企画を

昨年の訪日旅行者数が2400万人に達したインバウンドは、数とともに質の向上も問われることとなります。2020年における4000万人の達成に向けて、JATA としては2018年に3000万人という目標を掲げ、「明日の日本を支える観光ビジョン」に示された内容を「つぎつぎと進めたい」と考えています。

ツアーオペレーター品質認証制度の普及による質の向上や、地域の受け皿としてのDMOがマネージメントマーケティングともに自立する組織となるよう、旅行業界として人材の支援などを行っていきます。

国内旅行については、国立公園や日本遺産、ユニークベニエの活用などを通じて、訪日旅行とともに振興していけるように、旅行会社として手腕を示していきたい。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて文化プログラムの登録も始まっており、JATA としても協力して大いに盛り上げていきます。また、新しい制度が始まったファミツアーでは、バス会社の協力を得て使用バス会社名の表示を実施し、契約における下限運賃の厳守も行って、安心安全で魅力ある企画を開発していきたい。

ツーリズムEXPO ジャパンは、「JATA 旅博」と日本観光振興協会の「旅フェア日本」の統合から3年間で一つの形ができていき、国連の「持続可能な国際観光年」でもある今年、日本政府観光局(JNTO)も主催に加わり、次のステップに向けB to B や三位一体の連携強化を図ります。



年頭会見で抱負を語る田川会長